

団体名	熊本留学生交流推進会議							
事業名	地域と留学生との交流及び早期グローバル教育機会提供推進事業							
実施期間	平成28年7月2日～12月10日							
場 所	熊本大学、熊本市国際交流会館、熊本城ほか熊本市内、福岡県立英彦山青年の家、国立諫早青少年自然の家							
参加者数	外国人留学生	その他外国人	日本人学生	地域住民	スタッフ	大学関係者	来場者等	合計
	295	10	295	139	23	20	0	782名

<実施内容>

1. ウェルカムパーティー(春)(秋)
4月入学及び10月入学の新入留学生を歓迎するため、7月2日と10月22日に熊本大学においてウェルカムパーティーを実施しました。春のパーティーでは学生サークルが「よさこいダンス」を披露しました。県内の他大学に所属する留学生や日本人学生とも交流を深めました。4月に発生した熊本地震の影響を受け、春のパーティーは予定を延期して7月の実施となりました。
2. 留学生・日本人学生交流キャンプ
・国際ボランティアワークキャンプ
熊本地震の影響で日程と会場を再調整し、8月14日-16日に福岡県立英彦山青年の家に会場を移し開催しました。高校生64名、留学生21名、計85名の参加となり、基調講演に始まり、全体交流会、自分の未来について考える「未来職道」のあと、「環境」「多文化共生」「国際交流」「Child right」「食」「国際協力(医療保険)」の6つの分科会に分かれ3日間の活動を行いました。
・グローバルワークキャンプ
同じく熊本地震の影響により、9月16日-19日に第4回目となるグローバルワークキャンプを長崎県諫早市の国立諫早青少年自然の家で実施し、日本人学生50名、外国人学生20名が参加しました。実行委員の学生が主体となり、5つのテーマ別分科会活動を中心に、スポーツ交流や自分の夢を語り合う「ユメノビラ」、会場予定地だった阿蘇について学ぶ「阿蘇学」などの多彩なプログラムでした。
3. 熊本をさるく
11月20日に熊本市国際交流会館において「熊本をさるく」イベントを開催しました。県内各大学の留学生、日本人学生と高校生がグループを作り、ガイドの案内により6コースに分かれ熊本市内を散策し、学んだことをグループ毎に発表しました。
4. 多文化共生留学生シンポジウム
12月10日に熊本市国際交流会館において多文化共生留学生シンポジウムを開催しました。今回は、4月に発生した熊本地震を振り返る企画とし、中国、台湾、韓国、ベトナム、ネパールの留学生に被災体験を語ってもらいました。
5. Facebook等SNSを活用したコミュニティの形成
平成28年4月に発生した地震を受け、本学の留学生を始め、日本語の不自由な熊本の住民向けに避難場所や公共交通機関の運行状況、熊本大学で行われた独自の支援活動情報などをFacebookやTwitterを通じて情報提供しました。

<記録写真>



ウェルカムパーティーの様子



熊本をさるくの様子



多文化共生留学生シンポジウムの様子

<参加者からのコメント>

ムハンマド フィクリ ラマダナさん(インドネシア)/
Muhammad Fikri Ramadhana

エイグラ ラジュさん(インド)/ Raju Aedla

多文化共生留学生シンポジウムで熊本地震の体験を語りました。地震は私の人生の中で一番辛い二週間でした。余震が多くて、安全な避難所でもずっと不安を感じました。また、睡眠時間の眠れないほど寒さを感じましたし、何処にも行けなかったし、色々な辛い事を経験しました。しかし困難な時でも、皆と一緒に立ち向かっているからこそ、皆の心が強くなりました。自分が何かを助けて上げられることをしたり、子供を笑わせたり、周りの人にできるだけ迷惑しないようにしました。多くの人からインドネシアの留学生が受けた支援がすごく沢山ありました。ご支援して下さいました方々に感謝の気持ちをこめて、本当にありがとうございました。

「熊本をさるく」は、留学生のための熊本市の歴史と文化を日本の高校生とともに探求する素晴らしいイベントでした。私のグループは地震後の熊本城を散策し、城の壁や砲塔を中心に壊れた場所の詳細な説明が行われました。イベントの終了後は、各グループ別に、このコースで得た経験と知識を発表しました。留学生にとっては、熊本城の歴史や街の文化を学ぶことができる、本当によいプログラムでした。それはまた、日本人や他の留学生と伝統的な文化体験を共有する素晴らしいプラットフォームでした。